

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザに引き続き注意してください

感染症発生動向調査で、熊本市の第12週(3月20日～3月26日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週8.60人(今週8.88人(定点数25ヶ所、患者報告数前週215人(今週222人))と前週から少し増加、「警報レベル終息基準値(10)」未満となっていますが、例年通り、2週連続B型の割合がA型を超えています。引き続き感染予防に努めましょう。

●感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)に注意して下さい

例年、3月から5月にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が流行しています。ノロウイルス等の胃腸炎もピークは過ぎましたがまだ流行中です、引き続き感染予防に努めましょう。

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。

◆どんな病気？

- ・症状……吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。
- ・潜伏期間…1～3日程度(病原体により異なる)
- ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。
- ・流行期……ノロウイルスによる胃腸炎は11月～3月、ロタウイルスは2～3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。
- ・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

◆予防法は？

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール(ノロウイルスには無効)等でしっかり消毒しましょう。

期 間		平成29年 第11週		平成29年 第12週	
		3/13～3/19		3/20～3/26	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	流行中	215	8.60	222	8.88
RSウイルス感染症		2	0.13	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		28	1.75	41	2.56
感染性胃腸炎		52	3.25	80	5.00
水痘(みずぼうそう)		16	1.00	9	0.56
手足口病		4	0.25	3	0.19
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	1	0.06
突発性発しん		4	0.25	6	0.38
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	5	0.31
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		11	2.20	4	0.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	2	0.40
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		3	0.60	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		2	0.40	1	0.20